

幼児の自然体験型環境学習プログラム

田畑・園庭

プログラム名	小人さんがほしいもの	
対象年齢	4歳児	
メッセージ	自然を大切にしたい気持ちを持とう	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な自然物に親しみを持って触れる。 ・自然物の感触（大きさ、やわらかさ、硬さ、形、温度） 	
参加者のめやす	幼児 30人	支援者 4人
実施時間	30分	
フィールド		
実施可能時期		
自然を感じるためのヒント		
時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
0:00	<ul style="list-style-type: none"> ・「クスリーヌ!!」と呼びかける ・ルールを聞く ・一緒にポーズをやってみる ザラザラの石 風 サラサラの石 ツルツルの葉っぱ ギザギザの葉っぱ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「クスリーヌ」の衣装に着替える。 ・くすの木の後ろに隠れる。 ・「クスリーヌ!!」と呼ばれたら、木の後ろから現れる。 ・クスリーヌ以外の保育者がルールを説明する ・雨天の場合は、ゆっくり歩くことを伝える。 ・困っている子どもがいれば、その場でポーズを見せ、一緒にやってみる。
0:05	<ul style="list-style-type: none"> ・「小人さんがほしいもの」ゲームをする。 ①一番にほしいものを持って来た子が小人になる（クスリーヌとポーズをする） ②小人でない子はポーズの自然物を探しに行く ③探したものを築山のフープの中に置く 置いたら、元の場所に集まる 	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目はクスリーヌが小人役をする。 ・2回目以降は、築山にいる保育者（2名）がポーズを見やすいようにしておく。 ・他の支援者は、子どもが探しに行くことができるように言葉を掛ける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>小人さんがほしいもの の遊び方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉っぱ→ 頭の上で、手で葉っぱの形を作る ・石→ 体を丸めて小さくなる ・木→ 体で大の字を作る ・風→ 両手でノの字を書く <p>感触を表す動作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ザラザラ、ギザギザ→ 両手を上から下に振る ・ツルツル→ 両手で頬をさする <p>小人になった子どもはポーズをする。 小人でない子どもたちは、ポーズの自然物を探す</p> </div>

あき

時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
0:20	・クスリーヌの話を聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・集まった自然物を見せて、形や感触等の違いに気づけるよう言葉をかける。 ・子どもたちの驚きや発見、気づきを取り上げて子どもの意見を聞く。
0:25	・自然物を自然に戻す	<ul style="list-style-type: none"> ・自然物も命があり、様々な違いを持ちながら、支えあっていることに気づけるよう言葉を掛ける。
0:30	・クスリーヌとさよならする	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかった気持ちに共感し、次の活動に期待が持てるようにする。
		<p>【園や家庭へ帰ってから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所を変えて、園庭や土手、自然物が落ちている森などで実施する。 ・木の実やドングリなどの自然物を集めて、園での製作に利用する。（小人の家づくりや靴づくり、弁当づくりなど） ・グループでの自然物を探し集める。
	<p>準備物・教材等</p> <p>・フープ1つ</p>	

